

平城遷都1300年祭 ついに開幕！

2010年は、奈良の地に平城京が誕生してから1300年にあたる。これを記念して、平城京誕生の地である奈良県を中心に、平城遷都1300年祭が開催される。

1月1日から12月31日まで(平城宮跡では4月24日から11月7日)行われる平城遷都1300年祭は、奈良県のみならず、関西をはじめ全国にある平城京ゆかりの地やアジア各地とも連携をはかりながら、国家的・国民的事業として、さまざまな事業が繰り広げられる。

はじまりの奈良、めぐる感動。

平城遷都1300年祭は、日本の歴史・文化が連綿と続いたことを「祝い、感謝する」とともに、「日本のはじまり奈良」を素材に、過去・現在・未来の日本を「考える」ことをコンセプトに、第一次大極殿正殿が復原・公開される平城宮跡を中心会場とし、奈良県内各地を新たにネットワークさせ、1300年の時空を超えた場と機会が展開される。

オープニングイベント (2009年12/31~2010年1/1)

平城遷都1300年祭は、2010年の幕開けとともにスタート。この開幕に合わせて、県内4カ所でオープニングイベントが盛大に行われた。テーマは「四神」。

そもそも平城京は、元明天皇が「四禽図にかない、三山鎮をなす」と宣言して造営がはじまったとされる。「四禽図にかない」とは、陰陽思想において四神相応の吉相の地という意味であり、玄武は北、青龍は東、朱雀は南、白虎は西で、天の四方を司る神獣である。この四神を象徴する奈良公園(玄武)、室生寺(青龍)、金峯山寺(朱雀)、信貴山朝護孫子寺(白虎)の各会場では、それぞれのエ

リアが持つ魅力を発信しつつも、互いに連携を取り合うことで、全会場が一体となって平城遷都1300年祭の開幕を祝うものである。

平城宮跡事業 (4/24~11/7)

平城宮跡事業では、日本が世界に誇る歴史文化遺産「平城宮跡」(最寄駅：近鉄 大和西大寺駅)をメイン会場に、半世紀にわたる「発掘と研究」「保存と復原」の成果をふまえ、平城京の建設と国づくりにかけた人々の情熱と知恵に触れ合う展示、催事が展開される。また、本格的な

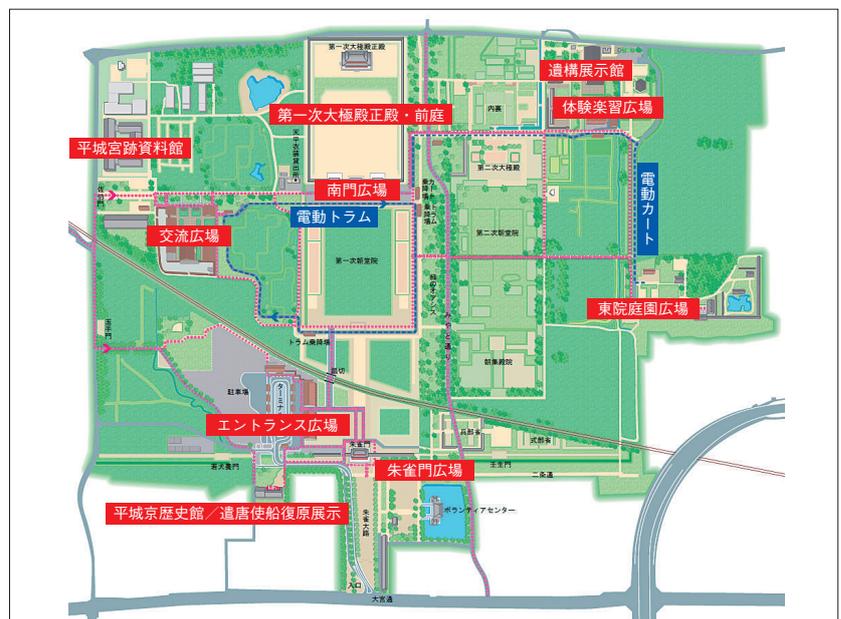
フィールド・ミュージアムとしての魅力と価値を備えた特別な体験・学習ツアーを実施する。

大極殿正殿

当時の政治・儀式の場となっていた建物である。この大極殿正殿が文化庁により復原整備された。4月下旬に大極殿正殿の完成を祝う記念式典が開催される。大極殿内部は1300年祭の開催に合わせ、一般に公開され、当時天皇がお座りになった玉座「高御座(たかみくら)」の実物大模型が展示される。

10月前半には大極殿正殿前庭を会場に、国内外の賓客や関係者を招

平城宮跡会場図



いて平城遷都1300年記念祝典が開催される。

平城京歴史館

外国使節団が見た平城京をコンセプトに、往時の壮麗・壮大な都の姿や華やかな文化を最新映像技術で再現する。また歴史館に隣接して遣唐使船を原寸大に復原・展示する。

平城京なりきり体験館

奈良時代の役人の仕事である木簡文書の作成体験や、疑似発掘体験を行うことができる。

ガイドツアー等

ボランティアガイドによる平城宮跡探訪ツアーや衛士による護衛の様子など、古代行事の再現などが繰り返し行われる。

まほろばステージ

一般公募により選ばれた市民・団体・NPO・アーティスト等による多彩な催事が行われ、交流ホールには平城京ゆかりの地域等からの出店参加が予定されている。

以上のような通季イベントに加えて、平城宮跡会場では、春、夏、秋の三季に季節のフェアを開催する。

平城宮跡の各所を花と緑で飾り演出する「花と緑のフェア」(4/24～

5/9)。平城宮跡内での光や灯りの展示や演出、大極殿正殿や朱雀門等のライトアップを行う「光と灯りのフェア」(8/20～8/27)。大極殿正殿前庭での著名なアーティストによる特別ステージや東院庭園での古楽器等のコンサート、平城宮跡の各所での古代行事の再現などが繰り返し行われる「平城京フェア」(10/9～11/7)。これら三つの各季フェアが通年イベントにアクセントを加える。

巡る奈良事業

(1/1～12/31)

巡る奈良事業では、平城京を誕生させた県内各地の歴史文化力に新たな光をあてた「巡礼」「周遊」型の行催事を展開する。

長い年月を超えて、今日まで大切に守られ、愛されている文化財が多く存在する奈良大和路。奈良の奥深く豊かな魅力への誘いとして、平城遷都1300年を記念し、多くの社寺の協力のもと、秘宝・秘仏の数々が県内各地の50余りの社寺等において特別に開帳される。奈良大和路はまさに「祈りの回廊」であり、これまでの「賑わい・伝統行催事」に加え

て、「社寺・国宝を巡る」「古道を巡る」「花と自然を巡る」「歴史・文化を巡る」新たな魅力を備えた歴史探訪ツアーである。

特別事業

特別事業では、「奈良から全国へ、そして世界へ」を合言葉に、唐との交流を通じて本格的な国づくりを進めた平城京に思いをはせながら、奈良と世界に新たな交流を生み出す多彩なコンベンション事業を展開する。

日本や東アジアの望ましい未来の構想に資するため、2010年に奈良で開催される東アジア地方政府会合やAPEC観光大臣会合などの各種国際会議等の成果を活用し、「平城京レポート」として国内外に発信する。また、関西をはじめ全国にある平城京ゆかりの地で開催されるイベントと連携し、より深い友好交流のネットワークを築いていく。

今後の展開

以上のような各種事業を通じて、平城遷都1300年祭は、日本と諸外国との交流促進に寄与するとともに、奈良全体を国際的な歴史文化観光拠点として発展させる契機となる。そして、その奈良の動きは奈良から全国、世界へと空間を超え、大きな広がりをもって展開されていく。

当会としても、この記念事業の成功に向けて全力で応援していく所存であり、引き続きご理解、ご支援をお願いしたい。

(地域連携部 中澤昌弘)

1300年祭年間スケジュール

